

国際協力

No.40
2014 夏号
JICA駒ヶ根
2014.7.1

Contents

所外活動先からのメッセージ	1	教師海外研修	4
三四六氏と語る協力隊の夕べ	2	JICAデスクの窓から	4
JICAボランティア春募集結果	2	協力隊員現地レポート	5
イベント・レポート	3	長野県出身新ボランティア	5
田中理事長が初訪問	4	帰国ボランティア紹介	6
		インフォメーション(派遣前訓練公開講座)	6

特集 地域とともに
35年 Part3

所外活動受入先の皆さんからのメッセージ

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 設立35周年特集

所外活動とは：青年海外協力隊の候補生が、訓練中の2日間、近隣の福祉・教育施設、農家さん等にお邪魔して行うボランティア活動

毎回楽しみにしています。元気で行ってきてください！

千寿園

今年で40周年を迎えた特別養護老人ホーム千寿園さんも訓練所開設当初からお世話になっています。現在の吉川園長も、35年間協力隊候補生を見守って来てくださっているお一人です。「候補生はいつも新しい風を入れてくれる。皆さんに接することで入所者の表情が生き生きと元気になる。さらさら輝いている彼らを、みんな心待ちにしています」と。「初日は難しかった年配の方々とのコミュニケーションが、最後にはとれるようになった」「いろいろなお話を聞くことができ、とても楽しかった」と候補生らに言ってもらうのがうれしい、と園長さん。「人と人が出会うのっていいな、と毎回感じさせてもらっています。この経験を派遣先でも生かしてほしい」とも。これからもお互いの心が温かくなるような交流の場になることを願います。



1980年代の所外活動の様子。

皆さんの特技も、入居者さんに見せてくださると喜ばれます！

長野県
西駒郷

障害者支援施設の西駒郷さんも、35年間所外活動先としてお世話になっています。現在活動の1日目は入居者の皆さんと外での全体作業、2日目は各支援棟での異なる作業を一緒に行ってもらっています。長年関わってくださっている宮下課長は、「昔はおそろいのジャージを来ていかにも協力隊、という感じでしたね。以前はベンチなどを作ってもらったことも」。ご担当の伊藤さんは「知的障害者の方が多いので、初めはどう会話をすればよいのか戸惑っている様子ですが、コミュニケーションが難しい人たちと接し、わからないなりに方法を学んでおられるようです。言葉の通じない派遣国に行く前に良い勉強になった、世界が広がった、と言ってくださいます」と話されていました。



入居者の皆さんと共に作業する候補生ら。

福岡保育園

派遣先で大切なこともたくさん発見してきてください。

福岡保育園の馬場園長も訓練所の歴史とほぼ同様、33年間候補生を見守ってくださっています。候補生らは保育士となり、子どもたちの一日を学びます。子どもたちは候補生のお兄さんお姉さんが大好きで羽目を外してしまうことも。園長先生は必ず「子どもだからといって全てを許すのではなく、されていやなことはしっかりと断って」と伝えていきます。候補生を通して子どもたちは上の人との付き合い方を学んでいるそうです。

以前、現地の子どもたちにと、派遣先におりがみを送り、帰国の前日に届いてなんとか間に合ったことや、修了式に子どもたちが訓練所まで歩いてさよならを言いに行ったことも。先生が「協力隊のカレンダーを毎年見るが、日本の子どもたちと違って、現地の子どもたちの目が輝いていること」とおっしゃっていたのが印象的でした。



当時の園舎に候補生が描いてくれた絵（1989年）

花卉農家
堺澤 豊さん

活動の効果がすぐに出ないのは農業と同じ。聞き直ってやるしかない！

訓練所近くの花卉農家の堺澤さん宅では、農作業などを手伝わせていただいています。堺澤さんご自身、「駒ヶ根協力隊を育てる会」の会員であり、協力隊についてご理解が深い方。「花卉業界もグローバルな世界なので、協力隊には興味がありました。受け入れ当初は自分も30代。候補生の皆さんとは意気投合することが多かったです」と。これまでの35年間、多くの候補生が訪れ、いろんな若者を見てきたが、若いうちに隊員として経験を積むことは日本社会にとって大いにプラス、と。候補生に期待もされており、最近、2月の大雪で倒壊してしまったハウスを候補生に片付けてもらって大変助かったとのことでした。



隊員からのたくさんの色紙やエアメール。感謝の気持ちがつづられています。

訓練所内だけでは学べない多くのことを学び、初めて派遣国へ旅立っていく候補生にとって、所外活動は重要な訓練の一つです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！



駒ヶ根青年海外協力隊訓練所設立35周年記念
H26 JICAボランティア春募集「説明会&体験談」

～三四六さんと語る協力隊のタベ～
大盛況のうちに無事終了!!

去る晴天の4月29日(土)、駒ヶ根訓練所に、あの三四六氏!!)をお迎えして所長と協力隊OB・OGが協力隊について喋り明かすイベントが実施されました。(司会はSBCアナウンサーの中澤佳子さん!)これまで訓練所に足を運んだことが無かった方々にもお越しいただき、190名を超える参加者を前に熱いトークが繰り広げられ、三四六ワールドがここ訓練所に展開されたのです!

三四六さんとJICA??そうなんです、一見無関係にも思える両者ですが、長野県とスポーツというところで深～い関係があるのです。(長野県という共通点は言うまでもないですが)JICAでは東京オリンピックの開催に併せてスポーツ隊員倍増計画を掲げています。そして、三四六さんはそんなスポーツ隊員の職種の一つである柔道の有段者で、国内で輝かしい実績をお持ちなんです。協力隊スポーツ隊員として活躍していた県内出身者の漆原伸也さん、中山晴美さんもお迎えしてこの日はスポーツに、国際協力に、話が尽きることはありませんでした。三四六さんの「誰かのために生きることが自分の幸せになる」という一言がとても印象的でした。三四六さんご自身の、シニア海外ボランティアへのご応募も期待しています!



左から、進行役の中澤佳子さん(SBCアナウンサー)、仁田所長、三四六さん、パネリストの協力隊OB 漆原伸也さん、中山晴美さん。三四六さん直筆のサイン色紙を手に。



パネルトークの様子



熱い弾き語りのミニライブも。

イベント終了後、参加者の満足そうな顔を見てスタッフ一同この大きなイベントに大成功の三文字を添えたのでした。

県内の熱い思い、海外へ!

— JICAボランティア春募集 終了しました。 —

JICAボランティアの春の募集期にあたる3月末から5月初旬にかけて、県内5都市で募集説明会を開催しました。

全会場で計140名の方が会場を訪れ、募集の概要説明から体験談に至るまで興味深く熱心に耳を傾けていました。中には高校生の参加者もあり、「将来は協力隊に入って海外で活躍したい」と熱く語ってくれました。長野県における国際化の明るい未来が垣間見えた瞬間です。

これからも我々JICA駒ヶ根はそんな熱い思いを持った人々を全力でサポートしていきます。JICAボランティア募集に関するお問い合わせはこちら→jicakjv-jocv@jica.go.jp(担当: 吉田)



長野市会場での個別相談の様子

イベント・レポート

Event Report



6/15

大人も子どもも候補生も、一緒に盛り上がった！ FIFAワールドカップ ブラジル大会 パブリックビューイング in JICA駒ヶ根 ーコートジボワール VS 日本ー



日本先制ゴールに湧きました。

訓練所をもっと身近に感じてもらうと企画した、駒ヶ根訓練所での初めてのパブリックビューイング。駒ヶ根市教育委員会と地元の赤穂公民館に共催していただき、一般市民や協力隊候補生、訓練所関係者ら250名以上の聴衆が見守る中、前半の日本先制ゴールに会場は大盛り上がり！

惜しくも日本は負けてしまいましたが、試合前には協力隊OBでコートジボワールに派遣されていた塩澤真洋さんによるコートジボワールのお話を聞いたり、試合中、協力隊候補生やOBらによるフェイスペインティングを楽しんだり、盛りだくさんの内容でした。参加者の大半は小学生以下の子どもたち。訓練所に元気な歓声があふれた時間でした。



協力隊の候補生に国旗を描いてもらう参加者ら

6/12

JICA信州国際塾 「地球の料理教室～ブータン編～」

@上田市
中央公民館

今年のJICA信州国際塾の第一弾は「地球の料理教室～ブータン編～」。今回の講師・榎本智恵子さん(ブータンOG)によるブータンでの活動や美しい映像に、22名の参加者の皆さんは引き込まれていました。

お料理から、異文化理解の深いお話まで味わえるこの教室、今回の最年少参加者は上田高校3年生の澤路さんです。お料理が好きという澤路さん、「インターネットではわからない、いろいろな国の文化をこうして実際に体験する機会がないので今回はすごく楽しかった!!」と目を輝かせて話してくれました。



6/1

第3回クロスカルチャーデー in Komagane

地元の皆さんと共に駒ヶ根市の良さを世界に伝えよう、というコンセプトで始まったクロスカルチャーデーin Komaganeも今回で3回目。

JICA関西からの外国人技術研修員、ボランティアとして赤穂高校の生徒さん、市民の皆さん、候補生ら計48名が千畳敷カールへ。当日は快晴で残雪もあり、雪が初めての研修員さんらも雪合戦を楽しみました。

昼はホテル千畳敷内のレストランで、餅つき体験、地元野菜のバーニャカウダやおやき、地元フルーツのチョコフォンデュ、田楽、そしてつきたて餅のお雑煮等の大振舞いに、研修員の皆さんは大喜び!地元参加の皆さんも楽しみつ、一生懸命交流されていました。最後に実行委員会の方々が考えてくださった研修員の漢字名を、地元名士が習字で書いてお渡ししました。

今回も多くの笑顔があふれたクロスカルチャーデー。今後も駒ヶ根市の良さを世界にアピールしていきます。



春の地域イベント 盛りだくさん!



佐久総合病院祭にて、医師の方々も民族衣装!

また、今年は佐久総合病院祭に初めて出展! 多くの病院関係者や佐久の皆さんにもお会いすることができました。

また、9月以降、各地で秋のイベントが多数行われる予定です。ぜひお近くのイベントのJICAブースにお立ち寄りください!

JICA駒ヶ根と青年海外協力隊長野県OB会と共同で出展している地域イベント、実は県内各地で年に10回以上行われています。今年はこれまでに7件。アースデーin佐久から始まり、長野マラソン、国際友好祭Laula(塩尻)、こもろ地球人まつり、千曲万博、佐久総合病院祭、こいこい松本・など。毎回地域のJICAボランティアのOB、OGの皆さんが集まり、派遣されていた国の紹介やクイズ、時には現地のお菓子を作ってふるまったり。内容も盛りだくさんで楽しいブースです。また、協力隊やシニア海外ボランティアに興味がある方の個別相談も受けています。



国際友好平和祭 Laula(塩尻)にて、スリランカの文字で子どもたちの名前を書く元 JICA ボランティア。

イベント・レポート

Event Report



6/3~4

JICA田中明彦理事長 駒ヶ根を初訪問



JICAの田中理事長が、就任後初めて駒ヶ根市を訪れました。初日は1次隊候補生への講義、2日目はJA上伊那の花卉選花場やAコープ駒ヶ根店、駒ヶ根市役所などを訪問、そして候補生との昼食懇談会に参加しました。

駒ヶ根市役所では、杉本市長や駒ヶ根協力隊を育てる会の役員らとの対談し、日頃駒ヶ根訓練所が、地元の方々にお世話になっていることへのお礼を述べ、来年度の訓練所大改修へのご協力依頼、また今後も訓練所を「国際センター」として利用してほしいと述べました。

◀訓練所で候補生と一緒に昼食をとる田中理事長(右列手前から二番目)

お知らせ

平成26年度 教師海外研修(モンゴル)参加者決定!



JICAが毎年教員の方々を対象に、途上国を訪問した経験を開発教育に生かしてもらおうと実施している教師海外研修。本年度モンゴル研修への参加者が決定しました。いずれも熱意にあふれた先生方ばかりです。

・伊藤須美子先生
(木曾町立開田小学校)

開田高原とモンゴルとの共通点と相違点からお互いの良さを学びたいです。

・小木曾一希先生
(長野県上田高等学校)

生徒が世界に興味を持ち、世界に出るきっかけづくりになりたいです。

・正村真一先生
(上田学園上田西高等学校)

わくわくして楽しみで仕方ありません。この体験を教室へ還元していきます。

7月に国内研修、そして8月上旬に約10日間の現地での研修となります。来年1月以降、一般公開で研修報告会も行う予定です。来号以降に研修の様様をご紹介しますのでご期待ください!



写真提供：今村 健志朗 / JICA

出前講座って!?

JICA長野デスクの窓から♪

皆さんこんにちは!国際協力推進員の業務の一つに「JICA国際協力出前講座」の調整、というのがあります。出前講座とは・・・開発途上国の実情や日本の国際協力について知っていただくために、学校や団体にJICAボランティアなどの経験者が講師としてお伺いするものです☆異文化理解はもちろん、人権学習、環境教育、最近ではキャリア教育の授業でも活用されています。

JICA駒ヶ根でも、ご依頼いただいた学校等の団体に長野県のJICAボランティア経験者を派遣しています。要望やニーズをお聞きして講師を派遣しますので、まずは「興味があるけど、どう進めていくのかな・・・」という段階でOK!ぜひご相談ください。

お問い合わせは、JICA長野デスク
長野県庁東庁舎1階(公財)長野県国際化協会(ANPI)内
TEL 026-235-7186 宮澤まで



協力隊経験者やJICAスタッフが学校や団体を訪問しています。(屋代高校にて 下段右が宮澤久美子推進員)



遠いと思われがちなミクロネシアですが、私のいる首都のあるポンペイ島はグアムから飛行機で3時間程。常夏で雨が多く、人々は穏やかで親切かつ親日的。以前日本の統治下だったことから日本語がそのまま現地語として残っており、「やきゅう」、「なっぱ」など、親近感がわきます。しかし、南国特有のおおかさ(あくせくせず、時間を気にしない)は健

在で、やっと慣れて来たところ。ミクロネシア短期大学付属の調査普及所で農産物加工を担当しており、地元農産物の有効利用方法の普及に取り組んでいます。

ここには、木に成る「パンの実」や、里芋を大きくした様なタロイモのようなものがあり、蒸して食べます。パンの実は多く収穫されると廃棄されることもあります。製粉すれば保存ができ、利用ができるのではと、試作品を作って地元業者に提案し、タロ芋粉が出来ました。これを利用してケーキを作り販売も開始。今は、パンの実粉で作るパンケーキミックスの開発を地元業者と一緒に取り組み中です。日本統治時代に植えられた、自生しているコーヒーの木を育てコーヒーの生産を始めた農家も支援しています。農業生産組合を組織して生産量を拡大し、地場産業になるよう応援したいと思っています。



パンの実の粉で作るパンケーキのワークショップ風景



皆さんこんにちは! 初冬のウルグアイ、リベラ県からです。ブラジルとの国境地に位置するリベラ県で、JICAシニア海外ボランティアをしている保健師の樋掛裕美子です。地域医療の普及のための助言、指導

に来ています。リベラ県庁へは2回目の派遣。巡回診療バスで県内の無医村地域を巡回し問題点の発見、提案をして事業の改善、地域医療の普及に努めます。今回は、前回あった問題点、改善提案事項を追跡評価し、多くの改善が確認できました。現在、モニターテレビを使用した健康に関する衛生教育をビデオ撮影中



巡回診療バスでの歯科治療をチェック

です。保健師職のないウルグアイでは、担当者への説明に苦労しています。毎週買い物や食事に誘ってくれる友人もいます。そんなお付き合いを楽しみながら、残る期間を活動に奮闘したいです。

平成26年度第1次隊 長野県関係者新ボランティア 行ってきます!!

シニア海外ボランティア



あべ としこ
阿部 敏子 さん (御代田町) 派遣国: トンガ 職種: 日本語教育
昭和55年4次隊でケニアに行っていた。協力隊こそ本物の国際協力だと信じ、いつかまた参加したいと思い続けてきた夢が叶いました。日本語教育を通じてトンガと日本の関係がより深まるように頑張ってきます。



わだ まさとし
和田 正俊 さん (長野市) 派遣国: ニカラグア 職種: コンピュータ技術
会社を退職する前から興味がありましたが自分のスキルで貢献できるのかと不安でなかなか踏み出せていませんでした。経験者の後押しもあって、やらないで後悔するよりはと思い応募しました。今は少しでも自分の経験で貢献出来ればいいなと思っています。



みやげ としき
宮毛 俊紀 さん (飯田市) 派遣国: ポリビア 職種: 小学校教員
南米のポリビアの小学校で算数を教えるにいきます。算数の楽しさや晩食することの面白さを伝えることはもちろん、日本のいいところを紹介したりポリビアのいいところをたくさん見つけながら充実した活動にしたいと思っています。



やまもと
山本 あゆみ さん (松本市役所勤務 現職参加) 派遣国: エクアドル 職種: 青少年活動
憧れだった青年海外協力隊が現実になるとうとしていきます。「地球の裏側」南米のエクアドルで、スポーツや工作などのレクリエーション活動を通して1人で多くの子どもたちを笑顔にできるよ、頑張りたいと思います。



こやま みお
小山 美央 さん (長和町) 派遣国: カンボジア 職種: 小学校教員
カンボジアの小学校教員養成校で、音楽・図工・体育の授業のサポートをする予定です。まずは現地の方と信頼関係を築けるよう、あいさつと笑顔を大切に、自分に出来ることを精一杯取り組んでいきたいです。



こばやし みき
小林 美季 さん (飯山市) 派遣国: カンボジア 職種: 青少年活動
中学校の教員として、子どもたちに沢山のことを伝えるために経験を積みたかったのがボランティアに参加したきっかけです。私が任国でできることは少ないと思いますが、たくさんのお会いや経験を、また日本に戻ってきた時に子供たちに何か伝えたいと思っています。



こばやし みほ
小林 美歩 さん (長野市) 派遣国: カンボジア 職種: 青少年活動
高校生の時に読んだ発展途上国の子供に関する新聞がきっかけで国際協力の仕事をしたいと考えようになりました。青年海外協力隊はそのための第1歩。カンボジアの人材育成に少しでも貢献できる活動をしたいと思っています。



まつだ かなえ
松田 香菜絵 さん (山ノ内町) 派遣国: ルワンダ 職種: 野菜栽培
大学で国際農業開発学を学び、農業で海外に貢献したいという夢を持ちました。ルワンダでは農業高校で野菜栽培の実習に関わります。多くの子供たちに農業の魅力を伝え人々の生活向上の助けとなるよう頑張ります。



あらい りかこ
荒井 里佳子 さん (長野市) 派遣国: ベネズエラ 職種: 林業・森林保全
日本には先人達が守り育てた素晴らしい森林があります。この豊かな自然を、ずっと先の未来の子ども達にも見せたくて、林業をしてみました。自然と人間が共生する未来をベネズエラにも届けることがわたしの活動です。



なかたいら ともひこ
中平 友彦 さん (飯田市) 派遣国: フィジー 職種: 環境教育
フィジーのナンディという観光地に環境教育で派遣されます。2年間という限られた時間の中で踏ん張って、もがいて、考えて、行動して、現地の人々から沢山のことを学んで笑顔で帰国できるよう精一杯頑張ります。



すずき ゆか
鈴木 有華 さん (上松町) 派遣国: カンボジア 職種: 青少年活動
環境が貧しくも人とのつながりを大切にしている人々に出会い、色んなことを考えさせられました。派遣予定のカンボジアでは現地の人々と共に、困難があっても笑顔を決やさず子供たちの教育に携わっていきたいです。



き が さわ まこと
氣賀澤 誠 さん (伊那市) 派遣国: コロンビア 職種: 小学校教員
Hola! 今回で、2回目の協力隊です。前は2年前、マーシャル諸島に派遣されていました。日本とマーシャルの小学校で培った教師経験を、コロンビアでも活かしたいです。そして、コロンビアの小学生の「できた!」と喜び顔を増やしたい!



かやま よしみ
加山 美味 さん (飯田市) 派遣国: パラグアイ 職種: 看護師
海外が好きで、国際協力で興味を持ち、カンボジアに行き人々の笑顔を見て、応募を決めました。周りの人々のおかげで挑戦することができます。パラグアイの病院と地域で看護師として活動予定です。現地の人々と同じ生活をしみながら、皆がより健康に過ごせるような活動をしていきたいです。



ふるかわ ゆうこ
古川 裕子 さん (塩尻市) 派遣国: アルゼンチン 職種: 日系日本語学校教師
中南米には戦前、戦後に移民した日本人がたくさんいます。現在はその子孫たちが日本語の継承や日本文化の普及に尽力しています。アルゼンチンと日本をつなぐ架け橋として少しでも力になれるよう活動していきたいと思っています。

青年海外協力隊

青年海外協力隊

日系青年ボランティア

Information

JICA駒ヶ根
インフォメーション

派遣前訓練公開講座

参加は無料ですが、事前にお申込が必要です。

▶ JICAボランティア事業の理念と目標

内容：JICAボランティア事業の概要及びその活動

7月25日(金) 15:10～17:00

定員：10名 講師：小川登志夫 事務局長（青年海外協力隊事務局）

▶ JICA事業概要

内容：JICAの目的・機構・歩み・現状などの事業概要

7月28日(月) 15:10～16:00

定員：10名 講師：青年海外協力隊事務局 職員

▶ 国際関係と日本の国際協力

内容：日本の援助の歴史、概略、現状を理解する

8月13日(水) 15:10～17:00

定員：10名 講師：廣野良吉氏（成蹊大学 名誉教授）

▶ 地球のステージ(コンサート)

内容：途上国で巡り会った人々との交流を映像と音楽そして語りで表現する「映像と音楽のシンクロ」ステージ。貧困生活の現状や紛争地域での子供たちの明るくたくましい姿などを映し出しながら、桑山氏自身の経験、ボランティア観を表現する。

8月13日(水) 19:00～21:00

定員：50名 講師：桑山紀彦氏（地球のステージ事務局）

▶ 世界の宗教理解

内容：世界の宗教についての理解を深める。

8月20日(水) 13:00～16:00

定員：10名 講師：大澤絢子氏（東京工業大学大学院 社会学工学研究科 価値システム専攻）

▶ 異文化適応概論

内容：文化とは何か、理解とは何か、カルチャーショックとは何か、適応するとはどういうことかなどの異文化に入っていくにあたっての心構え

8月23日(土) 13:00～14:50

定員：10名 講師：関谷雄一氏（東京大学大学院 総合文化研究科 准教授）

※講師の都合等で実施日が変更になる場合がありますので、ホームページでご確認ください。
ホームページ <http://www.jica.go.jp/komagane/event/index.html>

公開講座とは・・・JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はすべて駒ヶ根青年海外協力隊訓練所です。

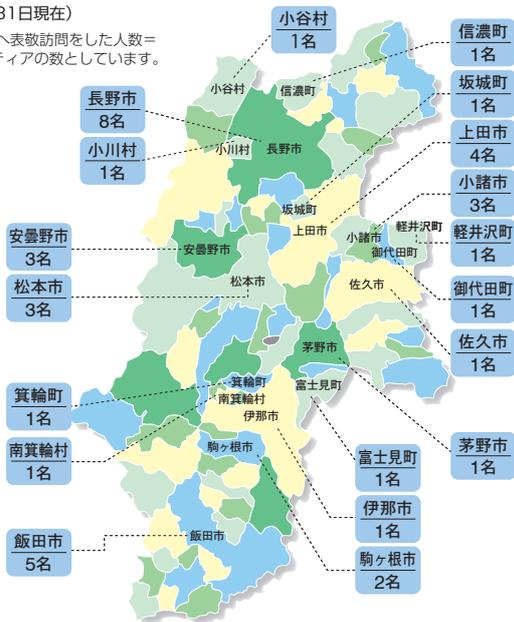
帰国した JICAボランティアの方々

2年間の活動
お疲れ様でした!!

派遣中JICAボランティア

(平成26年5月31日現在)

※各地方自治体へ表敬訪問をした人数＝
JICAボランティアの数としています。



長野県関係者 JICAボランティア派遣実績

平成26年5月31日現在

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| ①青年海外協力隊員
派遣中 33名
累計 897名 | ③日系社会青年ボランティア
派遣中 1名
累計 18名 |
| ②シニア海外ボランティア
派遣中 5名
累計 69名 | ④日系社会シニアボランティア
派遣中 1名
累計 4名 |

青年海外協力隊(H23年度3次隊 2012年1月～2014年3月)
工藤 裕美 さん(泰阜村) ●派遣国：カンボジア ●職種：臨床検査技師

カンボジアの首都から車で約2時間、トンレサップ湖のほとり、コンポンチュナンが私の住んでいた場所です。私は現在、臨床検査技師として病院



で、主に血液検査の結果を出しています。

カンボジアでも、同じ職業の検査技師として、現地の公立病院の検査室スタッフ達に、検査のやり方などの技術指導をしていました。

なかなか思うように活動は出来ませんでしたが、スタッフのお家にご飯に呼んでもらったり、毎日通うパン屋の娘さんと出かけることもよくありました。カンボジアに家族と、かけがえのない友達を作って帰ってきました。

青年海外協力隊(H23年度4次隊 2012年3月～2014年3月)
梅田 力 さん(御代田町) ●派遣国：サモア ●職種：美術

「芸術を通じて社会と関わる」という自身の生涯の目標を実現していくその足掛かりとして協力隊に参加しました。派遣先のサモアでは、3つの小学校を定期巡回しながら美術教育の普及に取り組みました。現地の豊かな自然とおおらかな人々に触れ、とても貴重な経験をした2年間でした。今後は、この貴重な経験を活かし、持続的に芸術を通じて社会と関わって行く道を追求して行きたいと考えています。



発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!

<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン

☐ 配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp

までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。